

2014年度経済学科教育課程表(2006年度から2009年度入学者に適用) [福祉と環境を学ぶコース]

		1年次						2年次						3・4年次						卒業 要件 単位
		1セメスター			2セメスター			3セメスター			4セメスター			5・7セメスター			6・8セメスター			
		授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	単位	担当者	授業科目	単位	担当者		
学科 基本 科目	経営学	2	小林三島加藤(寛)原	経営学	2	小林三島加藤(寛)原	社会経済学	2	川村玉手川松	社会経済学	2	川村玉手川松							14 単位 以上	
	経済史	2	松村福庭田中(光)	経済史	2	松村福庭田中(光)	マクロ経済学	4	村橋清水井木											
	経済入門	2	専任教員	ミクロ経済学	4	北大外坂上														
	日本経済論	2	飯塚比佐(卓)齋藤(太)新家	日本経済論	2	飯塚比佐(卓)齋藤(太)新家														
専攻 科目	コース 指定 科目								経済政策	4	戸田(社)清水渡部森(隆)氏	経済哲学	2	出雲	経済哲学	2	出雲	32 単位 以上		
								環境経済論	2	渡部森(隆)氏	環境経済論	2	森泉	計量経済学	2	森泉				
								経済統計	2	北村渡部森(隆)氏	経済統計	2	川村	計量経済学	2	川村				
								公共経済学	2	北村渡部森(隆)氏	公共経済学	2	的場	現代資本主義論	2	川村				
								財政学	2	五嶋田上橋	社会思想史	2	的場	社会思想史	2	的場				
								社会学	2	森田池上橋	地方財政論	2	小島	社会思想史	2	的場				
	コース 科目							社会政策	2	佐藤(孝)星野大	社会学	2	佐藤(孝)星野大	農業経済論	2	小島	地方財政論	2	小島	72 単 位 以 上 (含む 関連 8 単位 まで 可)
								日本経済史	2	星野大江	日本経済史	2	星野大江	食糧経済論	2	西原	食糧経済論	2	西原	
								労働経済論	2	小川(浩)	労働経済論	2	小川(浩)							
								アジア経済論	2	菅原	アジア経済論	2	菅原	アジア経済史	2	[休講]	アジア経済史	2	[休講]	
								アメリカ経済論	2	戸田(社)秋原	アメリカ経済論	2	戸田(社)秋原	経営財務論	2	小林坂本(恒)	経営財務論	2	小林坂本(恒)	
								開発経済学	2	柳澤	開発経済学	2	柳澤	国際ビジネス論	2	中野	国際ビジネス論	2	中野	
								経営史	2	山本(通)山藤	経営史	2	山本(通)山藤	経済変動論	2	[休講]	経済変動論	2	[休講]	
								経済学史	2	出雲	経済学史	2	出雲	広告論	2	及川高畑	広告論	2	及川高畑	
								国際経済学	2	松尾	国際経済学	2	松尾	交通論	2	齊藤(実)	交通論	2	齊藤(実)	
								財務会計論	2	岡村	国際金融論	2	岡村	証券市場論	2	緑川	証券市場論	2	緑川	
								産業組織論	2	三浦	連結会計論	2	三浦	消費文化論	2	数阪	消費文化論	2	数阪	
								西洋経済史	2	佐藤(睦)鳴瀬	証券市場論	2	佐藤(睦)鳴瀬	消費文化論	2	熊沢	消費者行動論	2	大野	
								世界経済論	2	藤村内藤	消費文化論	2	藤村内藤	人的資源管理論	2	三島田中(政)	人的資源管理論	2	三島田中(政)	
								中国経済論	2	柳澤	人的資源管理論	2	柳澤	中東政治経済論	2	後藤	中東政治経済論	2	後藤	
						中小企業論	2	柳澤	中東政治経済論	2	柳澤	貿易政策	2	秋山	貿易政策	2	秋山			
共通 選択 科目	基礎簿記	2	*1宮下	基礎会計	2	*1宮下	管理会計論	2	奥山(茂)	コストマネジメント論	2	奥山(茂)	会計制度論	2	四方田	税務会計論	2	*5		
	経済外国語A	2	[休講]	経済外国語B	2	後藤吉岡	古文書講読	2	関口	古文書講読	2	関口	国際会計論	2	戸田(龍)	会計社会学	2	戸田(龍)		
	経済外国語C	2	[休講]	経済外国語D	2	[休講]	経営管理論	2	小山	経営管理論	2	小山	外国為替論	2	清田	外国為替論	2	清田		
	経済情報処理	2	*2後藤三富	経済情報処理	2	*2後藤三富	経済専修英語(会話)	2	C.カワムラ	経済専修英語(会話)	2	C.カワムラ	環境会計論	2	[休講]	会計思想史	2	未定村		
	経済地理	2	後藤三富	経済地理	2	後藤三富	経済専修英語(講読)	2	阿久津	経済専修英語(講読)	2	阿久津	貿易売買論	2	荒畑	海上保険論	2	荒畑		
	コンピュータ概論	2	児玉				経済専修英語(作文)	2	阿久津	経済専修英語(作文)	2	阿久津	グローバルマーケティング	2	丸谷	グローバルマーケティング	2	丸谷		
	初等経済数学	2	坂原	初等経済数学	2	坂原	非常利組織論	2	大黒	協同組合論	2	大黒	経済専修英語(会話)	2	C.カワムラ	経済専修英語(会話)	2	C.カワムラ		
	民法概説	2	島田(博)	民法概説	2	島田(博)	東アジア経済事情	2	*3齊藤(実)中田	東アジア経済事情	2	*3齊藤(実)中田	経済専修英語(講読)	2	阿久津	経済専修英語(講読)	2	阿久津		
	流通論	2	ハッ橋中田	流通論	2	ハッ橋中田	物流論	2	齊藤(実)中田	物流論	2	齊藤(実)中田	現代の経済問題	2	[休講]	現代の経済問題	2	[休講]		
							貿易コミュニケーション	2	魏福津	貿易コミュニケーション	2	魏福津	現代の経済問題	2	森田泉	現代の経済問題	2	森田泉		
関連 科目							貿易コミュニケーション	2	小川(智)	貿易コミュニケーション	2	小川(智)	現代の経済問題	2	森田泉	現代の経済問題	2	森田泉		
							貿易商務論	2	中野	貿易商務論	2	中野	現代の経済問題	2	森田泉	現代の経済問題	2	森田泉		
							商法概説	2	金尾	貿易商務論	2	金尾	現代の経済問題	2	森田泉	現代の経済問題	2	森田泉		
												現代の経済問題	2	森田泉	現代の経済問題	2	森田泉			
												現代の経済問題	2	森田泉	現代の経済問題	2	森田泉			
												現代の経済問題	2	森田泉	現代の経済問題	2	森田泉			
												現代の経済問題	2	森田泉	現代の経済問題	2	森田泉			
												現代の経済問題	2	森田泉	現代の経済問題	2	森田泉			
												現代の経済問題	2	森田泉	現代の経済問題	2	森田泉			
												現代の経済問題	2	森田泉	現代の経済問題	2	森田泉			
											現代の経済問題	2	森田泉	現代の経済問題	2	森田泉				

*1 岡村,奥山(茂),戸田(龍),田中(弘),木村

*2 奥田,児玉,内村,工藤,山本(雄),橋本,七宮,星野,藤森

*3 平川,姜,菅原

*4 平川,谷川,藤村

*5 戸田(龍),田中(弘),井上,市川(琢),宇久田,今田,早川,宮澤,四方田,宮下,村上

*6 佐藤(孝),小山,三島,山本(崇)

〔履修要件〕

- 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 各セメスターの履修単位は、それぞれ22単位を上限とする。
ただし、
第二外国語を履修する者は、第二外国語2単位の超過を認める。
長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
卒業年次生に限り、特別に学部長の許可を得た者はこの限りでない。
資格教育課程に関する科目、教職課程の「教職に関する科目」及び「キャリア形成科目」の単位数はこの上限単位に含めない。
通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前期・後期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 「経済入門」は1年次のみ履修することができる。
- 「経済ゼミナール」は2年次、「経済ゼミナール」は3年次、「経済ゼミナール」は4年次で履修するものとする。
- 「インテンシブ・プログラム〔情報〕」の履修については、履修者を制限する。履修の方法については、別に定める。
- 「経済情報処理」の履修については、履修者を制限する。履修の方法については、別に定める。

〔コース登録〕

- 2年次の第3セメスター履修登録時に「福祉と環境を学ぶコース」「市場と公共政策を学ぶコース」「国際経済と社会を学ぶコース」「企業と産業を学ぶコース」のうち、いずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- コースの変更を希望する者は、3年次の第5セメスターの履修登録時に「コース変更届」により申請し、許可を得なければならない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。また、これらの科目は各年次の履修制限単位数には含めない。

- 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目 入学年度	共 通 科 目							共 通 科 目 計	専 攻 科 目					専 攻 科 目 計	自 由 選 択 科 目	合 計
	F Y S	外国語 科目	教 養 系 科 目						学 科 基 本 科 目	コ ー ス 指 定 科 目	コ ー ス 科 目	共 通 選 択 科 目	関 連 科 目 (8可)			
		(第一 外国 語)	キャリア 形成科目	人文 の分野	社会 の分野	自然 の分野	健康 科学の 分野									
2006年度 以降入学者	2	6	—	4	4	4		30	14	32	72		86	12	128	
				22												

- 共通科目のファースト・イヤー・セミナー(FYS)2単位を修得すること。
- 教養系科目から22単位以上(人文、社会、自然の各分野の4単位を含む)を修得すること。
ただし、「キャリア形成科目」の単位は「卒業要件単位数」に算入しない。
また、教養系科目のうち「健康科学」の「スポーツ文化・・・」については、2単位まで「卒業要件単位数」に算入できる。
- 第1外国語として英語6単位を修得すること。
外国人留学生は申請により、英語に換えて日本語を第1外国語とすることができる。
- 専攻科目から86単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。
 - 学科基本科目から14単位以上修得すること。
 - 各自が選択したコース指定科目を32単位以上修得すること。
 - コース指定科目(各自が選択した32単位を含む)、コース科目及び共通選択科目から72単位以上修得すること。
ただし、関連科目は8単位まで共通選択科目に換算できる。
- 自由選択科目の単位として、12単位以上を修得すること。
自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
 - 全学共通科目(キャリア形成科目を除く)及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - 教職課程の「教職に関する科目」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。
 - 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。

— 教育課程における標準年次の区切線について —

標準年次が実線(——)で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できません。
標準年次が破線(.....)で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できますが、
〔履修要件〕等にしたがって履修できない授業科目もありえますので注意してください。